

龍郷町立中学校在り方検討委員会設置の経緯

中学校の統合問題については、平成２８年・平成３０年に議会の一般質問がありその際には、各地域の中で議論をしていただきたいと答弁をしております。

その後は、行政側及び地域においても議論する機会がなく今日に至っておりますが、令和５年６月議会において、再び一般質問があり今後の生徒数などを考えると何らかの対策が必要ではないかと提言があり、教育委員会としましては、まずアンケート調査を実施して、検討委員会を設置し、協議を重ねたいとしておりました。

令和５年７月に龍北中校区、赤徳中校区の全世帯を対象に「中学校の再編・統合に関するアンケート調査」を実施したところであります。

アンケート調査は、１０２６世帯に配布しまして、３６６世帯より回答をいただきました。アンケートの回答率は３５．６％となっております。そのアンケートの結果や、地域の意見なども集約して今後の町内中学校の在り方を議論していただきたいと考え、「龍郷町立中学校在り方検討委員会」を設置いたしました。

中学校在り方検討委員会は、各中学校長、PTA 会長、各校区区長代表、各校区議員代表、教育委員会教育委員の１７名で構成され、令和５年１１月に初会合、以降３回の会合を開き龍郷町中学校の今後の在り方について議論を交わして参りました。

中学校在り方検討委員会として、様々な議論の結果、中学校の在り方について意見がまとまりましたので、令和６年８月に報告書を町長へ提出したところであります。

龍郷町立中学校在り方検討委員会報告書

令和 6 年 8 月

龍郷町立中学校在り方検討委員会

報 告 書

龍郷町長 竹田泰典 殿

中学校在り方検討委員会
委員長 碓 山 和 宏

龍郷町教育委員会の要請に基づき、令和5年11月に各中学校の学校長など委員17名を招集し町立中学校在り方検討委員会を発足した。

検討委員会では、生徒の学校教育環境の充実を図るため、町内3中学校の在り方を事前に実施した「中学校の在り方に関するアンケート」の結果、本町の財政状況や少子化問題、学習面や部活動面などの教育環境を踏まえて議論を進めてきた。

検討委員会内で意見交換や諸問題への対応等、検討を重ねた結果がまとまりましたので、別紙のとおり報告いたします。

1．はじめに

2．各中学校における現状と課題

3．在り方検討委員会の総括

4．おわりに

5．経過報告

6．参考資料

- ・第1回 検討委員会議事録
- ・第2回 検討委員会議事録
- ・第3回 検討委員会議事録
- ・龍郷町の中学校の在り方に関するアンケート調査結果

1. はじめに

龍郷町の中学校の生徒数の推移は、「龍北中学校 令和4年度12名・令和9年度18名」「赤徳中学校 令和4年度39名・令和9年度51名」「龍南中学校 令和4年度116名・令和9年度144名」と予測されているが、今後、地域の過疎化や少子化により大幅な生徒数の増加は見込めない現状である。

また、各中学校校舎や施設についても建設から20年以上経過し、老朽化のため大規模な補修が必要な時期となっており、早急な整備・改修が迫られている。

近年、国際化・情報化をはじめとする社会の急激な変化に対応する教育のあり方が求められている中で、学校教育においては本町の教育課題に向き合い、主体的・創造的に生き抜いていく力を育てていく事が何よりも重要である。

令和5年7月の「龍郷町の中学校の在り方に関するアンケート」の結果を受けて、これまで3回にわたって今後の中学校の在り方についての検討会を開催してきた。

小規模校には小規模校の良さもあるが、これからの龍郷町を背負っていく子どもたちの学習環境の充実を図るためには、統合はやむを得ないであろうという意見がほとんどであった。

各中学校の将来の生徒数や校舎・施設の老朽化等も踏まえたうえで検討を行い、検討委員会としての結論を得たので、報告するものである。

2. 各中学校における現状と課題

①龍北中学校

令和6年度の生徒数は、1年生5名・2年生2名・3年生1名の計8名で、1・2年生が複式の学級編制である。今後においても1学年10名以下となる予測である。

部活動は男子野球部、バレー部、女子ソフトテニス部があり、ソフトテニス部が団体は組めず個人だけの活動、野球部、バレー部については、龍南中・赤徳中・龍北中の合同チームでの活動となっている。

校舎については、平成9年に建設され28年が経過している。校舎の老朽化が進み外壁・窓枠からの漏水や外壁の欠損などがあり、改修が必要な状況となっている。

小規模校として、ひとりひとりを大切にする教育活動や寄り添う生徒指導が特色となっている一方で、やりたい部活動がないために他の校区の学校への進学や転校を行う生徒もいるのが、現状である。

②赤徳中学校

令和6年度の生徒数は、1年生15名・2年生9名・3年生14名の計38名で、全学年1学級の学級編制である。今後においても1学年1学級となる予測である。

部活動は男女バレー部と野球部があり、女子バレーが笠利・田検との合同、男子バレー野球部については、龍南中・赤徳中・龍北中の合同チームでの活動となっている。

校舎については、平成14年に建設され21年が経過している。現在のところ校舎の老朽化による改修は必要ないが、小学校も併設されており予防保全の観点から今後、大規模な長寿命化改修が必要となってくる。

小中併設校として、小・中の連携を密にし9年間を見通した一貫的な教育が特色ではあるが、小学校入学から中学校卒業まで同じメンバーで過ごすため、コミュニティの固定化が懸念される。また、やりたい部活動を求めて校区外へ進学する生徒も見受けられるのが現状である。

③龍南中学校

令和6年度の生徒数は、1年生55名・2年生35名・3年生45名の計135名で、1・3年生が2学級、2年生は1学級の学級編制である。今後においては年度により1学年1～2学級の学級編制で推移すると考えられる。

部活動は男女バレー部と野球部、サッカー部、女子ソフトテニス部、吹奏楽部があり、女子バレー、ソフトテニスが単独、男子バレーが赤徳・龍北中との合同、野球部については、龍南中・赤徳中・龍北中の合同チーム、吹奏楽部は単独での活動となっている。

校舎については、平成2年に建設され33年が経過しているが、令和4年度に長寿命化改修工事が完了している。

体育大会を生徒が企画運営するなど、生徒の自主性を尊重した教育が特色である。1学年40名未満で1学級となりクラス替えができないまま3年間を過ごす学年が多い。教室についても40名定員の教室にぎりぎりの人数で、授業を受けるような現状である。

3. 在り方検討委員会の総括

- ① 各中学校の生徒数の状況・推移、部活動の現状などを考えると、近い将来統合は必要と考える。
- ② 各学校、各学年の生徒数を考えると、クラス編制が可能になるように、また部活動においても様々な活動が選択できるように、3中学校を1中学校に統合することを早急に検討すべきである。
- ③ 中学校の複式学級を解消することによって、主要5教科においても専門教員を配置することができ、丁寧な教科指導環境の確立が可能となる。養護教諭も専任配置することで、思春期の生徒たちへの心身のケア環境の整備が行える。
- ④ 統合におけるメリット・デメリットについては、デメリットを少しでも改善できるよう調査研究し、メリットを最大限活かした教育ができるよう努めてほしい。

4. おわりに

近年、全国的に問題となっている少子化の進行は、龍郷町にとっても例外ではなく、児童・生徒数が減少傾向にある。

検討委員会の過程で、各中学校の生徒数や部活動に関する課題、教諭の専門外教科指導の負担、老朽化した学校施設等、諸問題を認識した。このような状況を踏まえ、当委員会では今後の町内中学校の在り方、統廃合の是非や生徒数を増やす手立てはないか等、様々な議論が交わされた。特に統廃合については、学校がなくなることによって地域と学校行事との関りがなくなったり、地域に子どもや教職員が減り、過疎化が一層進むなど課題となる意見も多く出された。一方で、各中学校の生徒数の現状、今後の推移、部活動の現状やそれに伴う区域外就学の状況等、子ども達への影響を考えるべきとの意見も多数出ている。

様々な議論を経て、安心安全で良好な学習環境、充実した部活動、龍郷町ならではの校風・特色をもった学校を整備することが、「主体的・創造的に生き抜いていく力を育てていく」という本町の教育目標の充実につながると考えられる。

以上、町立中学校在り方検討委員会としての意見をまとめたが、今後の実施にあたっては、学校・生徒・PTA・地域などと十分に話し合いをもち、教育現場や地域等に混乱を生じないように要望する。

最後に、本検討委員会の報告が本町教育行政の向上に役立つよう願うとともに、実現に向けて町長部局はもとより教育委員会においても最大限の努力をされるよう、望むものである。

龍郷町立中学校在り方検討委員会経過

令和 5 年 7 月

町立中学校の再編・統合に関するアンケート調査実施

・ 龍北中学校校区

秋名・幾里・嘉渡・円・安木屋場

・ 赤徳中学校校区

手広・赤尾木・芦徳

第 1 回 中学校在り方検討委員会（令和 5 年 1 1 月 1 7 日）

- ① 委嘱状交付
- ② 経緯と規約の説明
- ③ アンケート調査の結果説明
- ④ 質疑応答・自由意見

第 2 回 中学校在り方検討委員会（令和 6 年 2 月 2 8 日）

- ① 集落ごとのアンケート再集計結果説明
- ② 各中学校区における意見について
- ③ 質疑応答・自由意見

第 3 回 中学校在り方検討委員会（令和 6 年 7 月 3 日）

- ① 意見のとりまとめ
- ② 報告書のまとめ方について

第 4 回 中学校在り方検討委員会

- ① 報告書の承認について（書面決議）